



# きよかわむら 社協だより

2017  
2  
No.186



## 元気よく一緒に 唄いましょう

1月20日の村社協デイサービスの新年会に、民芸団『いろり座』（座長 三浦晃氏・清水ヶ丘在住）をお招きし、ご公演いただきました。

デイサービスではこれまでも、行事等で年に一度はいろり座に公演をお願いしており、毎回趣向を凝らした唄や踊り、三味線の演奏を楽しんでいます。

この日は新年会ということで、景気よく太鼓の演奏から始まり、昭和歌謡史特集では、昔懐かしい歌を団員が披露すると一緒に口ずさむ利用者の姿も見られました。そして後半の『ソランロック』では、三浦座長を先頭に、団員が利用者の近くに行き、「ソラン、ソラン」と大きな声を掛けました。利用者もその声に元気いっぱいに応え、会場は一体となって大いに盛り上がりました。

### 2月号 おもな内容

- |           |    |              |    |
|-----------|----|--------------|----|
| ●特集       | 2P | ●緑ことぶき連合会新年会 | 3P |
| ●舟沢サロン活動  | 3P | ●社協からのお知らせ   | 4P |
| ●配食ボランティア | 3P |              |    |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

特集

地域社会と繋がる

『障害者の就労支援』

厚木市上荻野にある障害福祉サービス事業所「ヴァルトハイム厚木（近藤博二管理者）」では、現時点で一般企業への就職が困難な精神の障害をお持ちの方に、就労を通じて、その知識と能力の向上が図れるように支援をしています。今月は、サービス管理責任者の柿沼康之氏と、村や厚木市内から通所されている利用者3人から活動内容等を伺いました。

**Q：どのようなお仕事（活動）をされているのですか。**

A：「コバルト弁当」というお弁当を作っています。職員と一緒に協力して、揚げ物をしたり、盛り付け、配達等行っています。何か一つでも、作業を一人でできるようになるのが目標です。



**Q：どのような障害をお持ちの方がお仕事されているのですか。**

A：精神障害者の方が働いています。精神障害といっても、「統合失調症」の方や「高次脳機能障害」「発達障害」の方など抱えている病気は様々です。

**Q：1日にどれだけお弁当を作っているのですか。**

A：平均50～60食です。昨年暮れには、通常の注文先以外からも注文があり80食近く作ったこともあります。



**Q：どのような所にお弁当をお届けしているのですか。**

A：清川村役場さん、厚木市役所さん、愛川町役場さんの福祉関連部署、清川村社協さん等にお昼にお届けしています。また、系列病院の職員にも届けています。

**Q：工賃（給料）はどれ位ですか。**

A：1時間あたり270円です。多くの方が1日3時間、週2～3日勤務しています。また、12月に半年分の工賃の30%がボーナスとして分配され、決算期の3月には業績に応じてボーナスが分配されます。



**Q：最後にメッセージをお願いします。**

A：温かいお弁当を温かいうちに食べていただけるように努めています。お弁当の注文が入ると「美味しいからかな」と思い嬉しくなります。4年前までは職員のみでの利用でしたが、今では注文先が広がり、私たち利用者にとって大きなやりがいになっています。

A：お弁当を購入していただくと、その売り上げは利用者の工賃に反映されます。定期的に利用して下さっている皆様にはご協力に感謝しています。新たな受注先を探して、利用者の生活が向上するよう職員も努めていきたいと思ひます。

〈ヴァルトハイム厚木〉 住所 厚木市上荻野1671 電話 046(291)2424  
HP <http://waldheim.o.oo7.jp/index.html>

## 老若男女でかるた遊び

～舟沢サロン～

1月15日、舟沢自治会館で舟沢サロンが行われ、19人が参加しました。この日の主な内容はお正月遊び。『いろはかるた』『福笑い』を老若男女が思い思いに楽しみました。

『いろはかるた』の読み手は何と保育園児。不慣れな中でも文字札を一生懸命読み上げていました。一番多くの絵札を取った小学生は「大勢の人達とできて楽しかった」と話していました。

一方、『福笑い』は大人が中心に取り組みました。滑稽な顔から普通の顔まで様々な顔が出来上がり、会場は笑いの渦に包まれました。お正月遊びの後は、参加者のご家族によるミニコンサートが行われました。ギター等楽器の演奏に参加者は「家族で立派だね」と感心していました。



▲福笑いをする参加者



▲絵札に目をやる参加者

## 今年も元気に活動開始

～配食ボランティア～



福祉給食サービスが、今年も仕事始めの1月4日からスタートし、もみじ会が調理した作りたてのお弁当を配食ボ

ランティアが利用者のお宅へお届けしました。「お弁当をお届けにきました。今年もよろしく願いします」と声を掛けると、「こう寒いと立ち上がるのも容易じゃなくて。待たせちゃってすみません。こちらこそ今年もよろしくお願います」と利用者が応じました。「年末年始もお変わりなかったですか。お弁当、温かいうちに食べてくださいね」と会話は続きます。何気ない会話ですが、ボランティアの顔を見ながら話せるこの時間は、利用者にとって美味しいお弁当と共に喜ばれています。今年も配食ボランティアは元気一杯、笑顔一杯で活動していきます。

## 綺麗な衣装で歌声を披露

～緑ことぶき連合会で新年会～

村緑ことぶき連合会の新年会が1月24日、せせらぎ館みどりホールで行われ、会員47人が参加しました。当日は、御来賓の大矢明夫村長、岩澤敏雄議会議長よりごあいさつをいただき、清川ゆずスパークリングワインで乾杯し、宴の開始となりました。まずは昼食。ポリユー△満点のお弁当に会場は、会員の「美味しいね」の声が溢れました。また、恒例のカラオケは、綺麗な衣装をまとった会員が素敵な歌声を披露し、会場は拍手喝采で賑わいました。熱唱した会員は、「緑ことぶき連合会に入る前は前で歌うことはなかったが、会に入ってこのような機会に恵まれた。本当に楽しい」と喜んでいました。

他にも会員による干支の置物のプレゼントや福袋抽選会があり、会員にとって新年の楽しい一時となりました。



## 第17回Aネットセミナー

### 「障害者差別解消法による合理的配慮に関する当事者の声を聞く」

上記をテーマに講義を通じて人権について見直すとともに、貴重な経験を共有できるセミナーを開催します。

日時 平成29年3月4日(土)

午後2時～4時

会場 厚木市荻野運動公園会議室

内容 講演

テーマ「障害者差別解消法による合理的配慮に関する当事者の声を聞く」

講師 尾上浩二氏

(DPI 日本会議副議長)

※DPI(障害者インターナショナル)は身体、知的、精神、難病など障害の種別を超えた障害当事者団体です。

主催 厚木地区福祉ネットワーク2006

NPO 法人あつぎ福祉ネットワーク

対象 障害福祉に関心をお持ちの方どなたでも参加できます。

定員 80名

参加費 無料

申し込み・お問い合わせ先

厚木精華園生活3課 長尾

☎046-280-4418

## 回収にご協力ありがとうございます

平成28年12月～平成29年1月

○ペットボトルキャップ	12件
○古切手	5件
○使用済みプリペイドカード	2件

第13回 かながわりハビリテーション・ケアフォーラム

## 脳血管障がいがある方の活動と参加

### 一働く世代の地域・社会生活を学ぶ一

脳卒中を発病した後遺症が残ったとき、仕事や経済的な面で、また地域生活においても人生の大きな変換点に立つこととなります。家庭や社会で支え合い、ともに地域で暮らすための課題はどのようなものであるのでしょうか。支援には医療、介護、福祉、行政関係など各分野の連携は欠かせません。このフォーラムで地域で活躍されている方々や、当事者の方のお話から地域・社会生活について学びましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成29年2月25日(土)

午後1時～4時30分

場所 横浜情報文化センター

(住所：横浜市中区日本大通11)

内容 ★特別講演(午後1時10分～2時10分)

「脳血管障がいのある人の活動と参加」

講師 長谷川幹氏

(三軒茶屋川\*リハビリクリニック院長)

座長 村井政夫氏

(神奈川県川\*リハビリ支援センター所長)

★シンポジウム(午後2時30分～4時30分)

定員 200名

参加費 無料

参加申込 ホームページから申込みをされる方は「地域リハ支援センター」で検索。また、社協窓口にも申込用紙を用意しています。

申し込み・お問い合わせ先

神奈川県川\*リハビリ支援センター 泉・砂川

☎046-249-2602

## はあと うおーむ

2ページにて「障害者の就労支援」をご紹介させていただきました。活動内容を取材させていただいた際の第一印象は『明るい職場』です。話を伺っていると、一人一人がやりがいとしっかりとした目標を持ち、お互いを尊重し合いながら仕事に取り組みんでいる様子から感じられました。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013